

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年12月 4日更新

事務事業名		アニメを活かしたまちづくり事業				☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	政策部	課長名	坂本政誠	
	施策	21	生涯学習の推進				所属課	まちづくり戦略室	担当者名	塚本健洋	
	基本事業	66	学習の啓発				所属班	戦略班	(内線)	1234	
予算科目		会計一般	款2	項1	目9	事業連番11544	法令根拠				
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 23 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)				
								成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑨			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・合志市に賑わいや市外へPRを行うことを目的に、漫画・アニメを活用したイベントの実施。 ・合志市に縁のある漫画家やアニメクリエイター、更にはアニメ・マンガを活かしたまちづくりを行っている団体の協力を得て、合志市の資源を活かした地域CM制作やイベントポスター等を作成し市内、市外にPRを行う。 ・漫画・アニメを活用した子ども教育の実施。 ・コンテンツ産業の誘致に向けた関係団体との協議。
【業務の流れ】	・市内小学生を対象に、子どもの教育と市のPRを兼ねた、合志市まんが・アニメCMづくりワークショップを夏休みと冬休みの期間に行う。
【主な予算費目】	旅費、需用費(食糧費)、負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・合志市出身の漫画家を活かしたまちづくりを求めた声がある。 ・他県では、県全域で漫画・アニメを活用した事業が増えてきている。 ・コンテンツ企業から合志市で事業を営みたいと要望があっている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・漫画・アニメでまちづくりの活動をしているNPO団体(グラウンド12)や本市に縁のある漫画家やアニメクリエイターと連携し、情報の交換やアニメを活かしたまちづくりについての協議を行った。		市民(児童)を対象としたアニメCM制作ワークショップの実施、その成果品を合志市のPRとして民間が実施しているCMコンテストに応募する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア 協議を行った回数	回	事業拡充に伴う委託費の増。
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		→ア アニメ等関連事業をHPに掲載した件数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
賑わいのあるまちづくりに取り組む		→ア HPを閲覧された回数
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
アニメやマンガを活かした事業に関心があるかを指標とした。		全体計画
		～年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移											
		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込	
① 活動指標	ア	回	0	15	10	25	20	30	30	30	
	イ										
② 対象指標	ア	回	0	4	10	21	15	20	25	30	
	イ										
③ 成果指標	ア	回	0	68,298	50,000	69,798	60,000	70,000	80,000	90,000	
	イ										
投資 入費 量 人件費	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円		1,000		450				
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円		1,664	616	520	986	2,000	2,000	2,000
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円	0	2,664	616	970	986	2,000	2,000	2,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正社員・ パート・ アルバイト	正規職員従事人数	人	5	5	5	4	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間	1,310	1,078	1,000	1,188	1,000	1,000	1,000	1,000
		(B)人件費計	千円	5,397	4,352	4,038	4,836	4,038	4,038	4,038	4,038
トータルコスト(A)+(B)		千円	5,397	7,016	4,654	5,806	5,024	6,038	6,038	6,038	

事務事業名	アニメを活かしたまちづくり事業	所属部	政策部	所属課	まちづくり戦略室
-------	-----------------	-----	-----	-----	----------

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した アニメ関係機関、県内のアニメ・漫画でまちづくりを目指しているNPO団体等との調整は図られ、事業仕分けで委員から良い評価もあった。しかし、この事業の目標を明確化する必要がある。	☒ 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 漫画やアニメを活用した取組みについて、市民（生徒）も参加を頂きまちづくりとして成果が現れてきた。この取組みをHP等に掲載し幅広くPRを行ない企業の関心を得ていくことが重要である。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 漫画・アニメを活かした取組みを行っている自治体・大学等が近年増えてきている。今後はこのような自治体等と連携して進めることで成果の向上余地がある。	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 講師の選定や市民の協力によるワークショップ手法を活用し削減を図る。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 最小限の事務で行っているため削減の余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 一部の受益者を対象とした取組みではないので、公平性は保たれる。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 漫画・アニメ文化による賑わいのあるまちづくりに市が努めることには異論もあるが、故郷出身の漫画家等を活かすことは市の役割である。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

アニメを活かしたまちづくりで、故郷出身の漫画家を活用することで賑わいがもたれると思われるが、出版社との契約、版權関係で協力を得てもらうことが非常に難しい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）																						
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								